

通産省工業技術院標準部の1995年度のJIS見直し事業の一つとして「JIS K 0113 電位差・電流・カールフィッシャー適定方法通則」の見直し業務が(財)日本規格協会より電気化学協会に依頼されました。現在、電気化学協会工業標準改正原案調査作成委員会(委員長:東京工業大学大学院総合理工学研究科 徳田耕一教授)の中に分科会を作り関係機関にご意見をいただきながら、5年に一度の改訂作業が行われているところであります。今回の改正にあたり、特に検討事項となっておりますのは、国際規格ISOとの整合性および環境問題を念頭においた試薬の使用であります。この規格の中ではカールフィッシャー適定に使用するメタノール、2メトキシエタノールなどが話題に上がっております。

分析用試薬による環境への負荷の低減ということを考えますと、毒性物質をできるだけ使用しないということも大変重要ですが、分析方法そのものをマイクロサイズ化して省試薬という観点から化学分析と環境問題に取り組んで行くことも必要であります。試薬と環境という面からみますと、フローインジェクション分析法は省資源、省試薬的湿式化学分析法でありますので、今回の改訂の検討事項である環境への配慮ということに適合することになります。以上のような次第で、今回の電位差・電流・カールフィッシャー適定方法通則の見直しに際し、フローインジェクション適定法の採用が提案され、現在分科会で検討されております。幸いフローインジェクション分析法の通則ができておりますので、採用の暁には各方法の操作の項の備考に「なお、フローインジェクション適定法を用いてもよい。詳細はJIS K 0126による」という記載になるものと思われれます。新しい方法が採用されますと、解説でその理由を詳しく説明しなくてはなりません。その中では従来法とフローインジェクション適定法は、どの点が同じでどの点が準ずるのかを明確にしておく必要があると思われれます。

JAFIA 事務局からのお知らせ

- ◇ 会誌 J. Flow Injection Anal. の編集委員長が本号 (Vol.12, No.2) から河嶋拓治先生 (筑波大学化学系) に代わりました。たくさんの投稿を期待しています。投稿規定は本誌に掲載しました。原稿は河嶋先生宛お送り下さい。またご不明の点は気軽に表紙裏記載の編集委員にお尋ね下さい。
なお、次回から論文別刷りは有料となりますが、カラー表紙付でお届けします。
- ◇ 第26回FIA講演会は、Separation Sciences '96と共催で東京都立大学講堂小ホールで開催されます。
FIA研究懇談会代表委員：成澤芳男先生 (立教大理)
期 日 平成8年6月6日(木), 7日(金)
テーマ (1) 環境汚染成分の分析 (3) 分析における高感度化
(2) 臨床及び生化学分析 (4) 分析における迅速化
会員の多数のご参加をお願いいたします。
- ◇ 第24回FIA講演会は、7th International Conference on Flow Analysis : ICFIA95) との合同大会として、G.D.Christian教授 (ワシントン大学) のお世話で、平成7年8月13~17日にシアトルで盛大に開催されました。日本からは13名の参加がありました。
次回は平成9年1月5~9日、フロリダで開催される予定です。またツアーを編成し、気軽に参加できるようにしたいと考えております。
- ◇ 本研究懇談会の公定法化準備分科会 (委員長 河嶋拓治先生, 副委員長 小熊幸一先生) の活動が活発に行われております。本年7月には”FIA計測法による窒素、リンのクロスチェック”も行われました。ISOの亜硝酸、亜硝酸イオンの定量法にFIAが採用されています。世界的にも公定法に採用される機運が高まっています。日本でも早期に各種公定法に採用されるよう、会員の皆様のより一層のご協力をお願いいたします。

FIA研究懇談会 (JAFIA) 事務局
本水 昌二

1. 会誌は年2回（6月1日，12月1日）発行される。
2. 著者のうち少なくとも1名は日本分析化学会会員またはフローインジェクション分析研究懇談会会員でなければならない。ただし，編集委員会が認めた場合はこの限りではない。
3. 投稿原稿は，下記のものとする。
 - (1) 研究論文 未発表のオリジナルな研究報告とし，図表を含め15ページ程度以内とする。
 - (2) 技術論文 フローインジェクション分析法の技術に関する未発表の報告で，15ページ程度以内とする。別に以下の項を設ける。
 - (3) 総説 あるテーマに関する過去の公表論文の内容をとりまとめたもの。
 - (4) トピックス 最新の他の研究者の論文紹介。図表を含め1~2ページ程度とする。
 - (5) 海外レポート 海外でのFIAに関する学会，大学訪問等のレポート。図表を含め1~2ページ程度とする。
 - (6) Q&A FIAに関するあらゆる質問。匿名可。半ページ程度とする。
4. 投稿原稿には，論文の種類（総説，研究論文，技術論文，トピックス，海外レポート，Q&A）を明記する。
5. 投稿原稿は日本語又は英語で書き，正1部，副1部を提出し，その形式は「投稿の手引き」に従うものとする。これに反する場合は原則として受け付けない。
6. 原稿は編集委員長（下記）宛に送付する。編集委員長到着日を受付日とする。
7. 原稿の採否は編集委員会が決定する。原稿の修正などのため返却された場合は，修正の上，指定された日までに返送すること。
8. 掲載論文の著作権は本研究懇談会に属する。

原稿送付先：

〒305 つくば市天王台1-1-1 筑波大学化学系

編集委員長 河島 拓治

電話：0298-53-6521；FAX：0298-53-6503

1. 投稿に当たっての注意事項

- (1) 投稿料は申し受けないが、別刷は50部10,000円、100部15,000円とする。別刷希望者は投稿時に申し込むこと。
- (2) 投稿原稿は正1部、副1部を提出し、編集委員長宛に送付する。
- (3) 会誌は年2回（1号：6月1日、2号：12月1日）発行され、それぞれの投稿原稿締切日は、3月31日（1号）、9月30日（2号）とする。

2. 原稿執筆の手引き

- (1) ワードプロセッサを用いて作成し、A4判用紙（横21cm、縦29.5cm）に、17cmx23cm（38字x38行程度）の範囲内に印字する。当方にてB5判に縮小してオフセット印刷するので、小さすぎるポイントの文字は使用しないこと。

(2) 投稿原稿の構成

投稿カード、論文からなる。

(i) 投稿カード

Vol.12, No.2に掲載のものをコピーして使用する。

(ii) 論文

最初のページの形式は以下のようなものであるが、書式については、Vol.12, No.2に掲載の論文を参照のこと。

表題：本文の文字より大きい文字とする。

氏名、所属、所在地：

英文題目：

英文氏名、所属、所在地：

英文要旨：5～15行

本文：表、図は適当な場所へ差し込む。

表、図の説明は英文とする。

文献：「分析化学」の形式に準ずる。

Notice to Foreign Authors of Papers

Journal of Flow Injection Analysis, which is published twice a year (June and December) by the Japanese Association of Flow Injection Analysis, provides a forum for the publication of Foreword & Message for FIA, Reviews, Research Articles, Topics, Technical Reports, Questions & Answers related to FIA, Reports from foreign countries, FIA Titles from meetings, FIA Bibliography, and Announcements.

I) Submission Rules

Foreword and/or Message, Reviews are normally initiated through invitation extended by the Editors. However contributed manuscripts will be carefully considered.

The following categories of papers are open to submission: Research Articles (less than 14 pages; reviewed by two referees), Topic (1 - 2 pages), Technical Articles (1 - 4 pages) and Question & Answer (1/2 page).

There is no page charge for any category of published papers. Fifty reprints will be supplied free of charge.

The copyrights of papers published in *Journal of Flow Injection Analysis* belong to the Japanese Association for Flow Injection analysis.

Manuscripts should be submitted to:

Editor-in-Chief: Professor Takuji kawashima

Department of Chemistry

University of Tsukuba

Tsukuba 305, JAPAN

Fax: 81-298-53-6503

II) Instruction for Authors

Contributions may deal with any aspects of flow injection analysis. Papers in English and in Japanese are published. The original paper should be typed, according to the instructions below. Manuscript should begin with (a) the title of the article, (b) the names of the authors, (c) the organizations, (d) the organization addresses, and (e) the abstract.

we need "camera-ready copy", and manuscript should be typewritten on white bond paper and the lines 1.5 or doubles-spaced.

The title should be all in capital letters and centered. After one-line space, names of author(s) are typed, followed by the address(es) of the author(s): the names and the address(es) are centered and typed with a capital for the first letter of each main word. The author to whom correspondence is to be addressed should be indicated by an asterisk. After two-line spaces the abstract should be typed (5 - 15 lines). The text should begin two lines spaces below.

The typing area of the pages is 17cm wide and 23cm deep. The typing area of all pages is the same.

Figures and tables should be included in the text. The caption must be clearly distinguishable from the text.

Manuscript should be confirmed in layout and style.

Please submit the original and a copy.

Journal of Flow Injection Analysis 投稿カード

原稿の種類		研究論文 トビックス	技術論文 海外レポート	総説 Q&A	受付* 番号	受付* 月日	審査* 終了
題名	和文						
	英文						
連絡代 表者 (O印)	著者名 (ローマ字)	所属機関名		所在地			
連絡代表者(会員番号 TEL 連絡先 FAX)	本文枚数 枚	図表 枚	別刷(50部単位) 枚	部		

投稿の際にはこの用紙に記入のうえ原稿に添付してください。*印の欄は編集委員会で記入します。